

ISOとPマーク  
認証取得を支援

LIA-AC

日本LPガス機器検査  
協会ISO審査センター  
(LIA-AC、角野慎



角野慎 治業務執行理事兼  
センター長

治業務執行理事兼センタ  
ー長)はISOとPライ  
バシーマーク(Pマー  
ク)の審査事業の両輪で  
LPガス事業者を支援す  
る。

LIA-ACは199  
5年に設立して以来、国  
際的な品質・環境マネジ  
メントシステムのISO  
9001と同14001  
の審査登録を手掛ける。  
20年から個人情報保護に  
関するPマークの審査も  
始め、一つの組織で両認  
証を審査できる国内初の  
認証機関となった。両認

証は、事業に適切に取り  
組んでいることを第三者  
が証明するため、取引先  
への信頼確保に貢献す  
る。いずれも登録や更新  
時に経営トップのインタ  
ビューがあるが、二つ以  
上の認証を受ける企業  
は、LIA-ACに依頼  
すればまとめて行えるた  
め負担が軽減できる。

ISOの審査登録は製  
造業や建設業の割合が多  
いが、LPガス業界での  
実績も積み上げる。角野  
センター長は「ニーズや  
要望に応じた対応で付加  
価値の提供を意識してい  
る。単なるお墨付きでは

なく、審査を請け負うか  
らには、「お客さまへの  
お土産」として実際に改  
善につながる審査を心掛  
ける」と話す。満足して  
もらえる品質を付加価値

と位置づけ、サービスの  
ブラッシュアップを狙  
う。審査事業の顧客満足  
度調査を行っており、得  
られた顧客からの声は研  
修を通じて審査員にフィ  
ードバック。審査先の規  
模を問わず「お客さまへ  
のお土産」を伴うサービ  
スを心掛ける。

Pマークの認証はLI  
A50周年を契機に「業界  
のために何かできること  
を」と新規事業として始  
めた。いまや個人情報を  
扱うすべての事業者が個  
人情報保護法の規制対象  
だ。同法は3年ごとに見  
直しがあり、新たな対応  
も求められる。情報の漏  
えいや紛失事故は企業規  
模を問わずに起こり、あ  
らゆる事業者で対策が求  
められる。

LPガス事業者も多く  
の個人情報扱い、デジ  
タルツールを使用する場  
面は多い。適切な個人情  
報の取り扱いが重要な課  
題であり、LPガス安全

高度化計画2030に  
は、サイバーセキュリティ  
対策とともに個人情報  
保護対策が盛り込まれ  
ている。

Pマークを取得するこ  
とで、個人情報の取り扱  
いに一定以上の信頼性を  
持つことが第三者目線で  
評価できる。LIA-AC  
によるPマークの認証  
はこれまで18件あり、  
LPガス事業者や関連会  
社も名前を連ねる。Pマ  
ークの審査は、日本情報  
経済社会推進協会が認定  
した指定審査機関が行  
い、LPガス業界はLI  
A-ACが身近な存在と  
して審査を担っている。

LIAは業界に対し、  
個人情報保護の重要性を  
訴えかける。地方LPガ  
ス協会の要望に応え、個  
人情報保護法のセミナー  
なども実施。講師は無償  
で請け負っている。「大  
きなインシデントが起  
る前に、それにつながる  
取っかかりをなくす。P  
マークはそのために良い  
システム。ぜひ制度に関  
心を持ってほしい。詳細  
を知りたい方は、お気軽  
にお声掛けしてほしい」  
(角野センター長)